



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)簾内 清人 (TEL)03(5462)7803
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	331,092	△38.1	△11,067	—	△10,690	—	△11,006	—
27年3月期第3四半期	534,585	4.8	△18,784	—	△16,428	—	△16,850	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △11,303百万円(—%) 27年3月期第3四半期 △16,216百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△142.83	—
27年3月期第3四半期	△218.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	258,381	46,806	18.0
27年3月期	287,889	58,351	20.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 46,513百万円 27年3月期 58,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 現時点では平成28年3月期の期末配当は未定とします。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	433,000	△35.0	△7,000	—	△6,700	—	△7,100	—	△92.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	78,183,677株	27年3月期	78,183,677株
28年3月期3Q	1,121,076株	27年3月期	1,121,076株
28年3月期3Q	77,062,601株	27年3月期3Q	77,062,601株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における原油価格（ドバイ原油）は、OPECに協調減産の動きが見えない中、期初1バレルあたり53ドル台で始まりましたが、5月には米国シェールオイルの減産見通しが出たことに加え、中東における地政学リスクの高まりを受け、66ドル台まで上昇しました。その後は、中国経済の成長鈍化による世界的な景気減速等で供給過剰感が強まり、12月末には31ドル台となりました。この結果、期中平均は約50ドルとなりました。

一方、期初1ドル119円台後半で始まった為替相場は、主に米国における利上げ観測等から5月下旬以降円安が進み、一時125円を超える水準となりました。しかし、8月中旬以降は中国をはじめとする新興国の景気先行きに対する懸念が深刻化し、リスク回避から円を買い戻す動きとなりました。その後、12月の米国利上げを前に円安が進展する局面もありましたが、期末には120円台後半となりました。この結果、期中平均は121円台後半となりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、小規模定期修理を実施したこと等により、前年同期比554千キロリットル減の5,579千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、706千キロリットル減の5,667千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、小規模定期修理を実施したことや、原油価格の下落を受け販売価格が下落したこと等により、前年同期比2,034億92百万円減収の3,310億92百万円となりました。

損益につきましては、在庫影響（総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が110億円の原価押し上げ要因（前年同期は198億円の原価押し上げ要因）となったこと等から、営業損失は110億67百万円（前年同期比77億16百万円増益）となりました。経常損失は106億90百万円（前年同期比57億37百万円増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は110億6百万円（前年同期比58億43百万円増益）となりました。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、前期に比べ原油価格が大幅に下落したことによるアスファルトピッチ（石油ピッチ）の採算改善や自家燃料費の低減等があったものの、小規模定期修理の影響等により、営業損失相当額は30百万円（前年同期比10億円減益）、経常利益相当額は3億円（前年同期比30億円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ326億56百万円減少の1,299億77百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少213億80百万円、受取手形及び売掛金の減少95億77百万円であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ31億48百万円増加の1,284億4百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加18億40百万円、建設仮勘定の増加17億77百万円であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ137億63百万円減少の1,611億91百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少90億34百万円、買掛金の減少72億84百万円、未払金の増加24億85百万円であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ41億99百万円減少の503億83百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少43億56百万円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ115億45百万円減少の468億6百万円となりました。主な要因は、資本剰余金の減少157億46百万円、利益剰余金の増加45億5百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績予想の修正について)

前回予想(平成27年11月10日発表)以降の原油価格及び為替レートの変動等を勘案し、通期の業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しでは、原油価格(ドバイ原油)を第4四半期平均30ドル/バレル(前回予想同50ドル/バレル)、為替レートを第4四半期平均120円/ドル(前回予想同122.5円/ドル)といたしました。

売上高は、原油価格の大幅な下落等により、前回予想比340億円減収の4,330億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の下落に伴う在庫影響(総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響)の悪化等により、営業損失70億円(前回予想比101億円減益)、経常損失67億円(同108億円減益)、親会社株主に帰属する当期純損失71億円(同108億円減益)と前回予想比で大幅な減益となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は前回予想から大きな変動はなく、営業利益相当額は52億円(前回予想比4億円増益)、経常利益相当額は55億円(同3億円減益)となる見通しです。

(配当予想の修正について)

当社は、株主各位への利益還元を重要な経営課題のひとつと考えており、中長期的な事業発展のための内部留保の充実に留意しつつ、業績及び資金バランス等を勘案の上、安定的な配当の継続に努めることを基本方針としています。

しかしながら、当期の業績は上記業績予想修正のとおり、大幅な下方修正が見込まれること、他方でこの先の原油価格の動向は著しく不透明であり、原油価格の動向次第で業績も大幅に変動する可能性があること等を勘案し、当期末配当予想につきましては前回予想(平成27年5月12日発表)の1株当たり6円から未定とし、最終的には当期及び今後の業績動向等を総合的に勘案の上決定することといたします。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,217	13,523
受取手形及び売掛金	61,569	51,991
有価証券	235	241
たな卸資産	79,072	57,691
未収入金	4,497	4,676
繰延税金資産	215	434
その他	1,826	1,417
流動資産合計	162,633	129,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,498	11,332
油槽(純額)	3,220	3,404
機械装置及び運搬具(純額)	24,530	23,282
土地	51,664	51,664
建設仮勘定	1,315	3,092
その他(純額)	237	243
有形固定資産合計	91,466	93,019
無形固定資産		
ソフトウェア	417	474
その他	162	158
無形固定資産合計	579	632
投資その他の資産		
投資有価証券	13,827	15,668
長期貸付金	958	952
退職給付に係る資産	47	15
長期未収入金	18,296	18,091
その他	545	487
貸倒引当金	△466	△464
投資その他の資産合計	33,208	34,751
固定資産合計	125,255	128,404
資産合計	287,889	258,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,892	22,608
短期借入金	90,394	81,359
1年内返済予定の長期借入金	6,368	7,901
未払金	21,839	24,324
未払揮発油税	21,492	21,878
未払法人税等	95	100
その他	4,872	3,018
流動負債合計	174,955	161,191
固定負債		
長期借入金	36,464	32,108
繰延税金負債	9,630	9,971
特別修繕引当金	2,265	2,213
修繕引当金	2,962	2,943
退職給付に係る負債	2,848	2,755
役員退職慰労引当金	40	23
その他	369	367
固定負債合計	54,582	50,383
負債合計	229,537	211,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	57,215	41,469
利益剰余金	△22,330	△17,825
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	57,921	46,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242	64
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△600	△686
退職給付に係る調整累計額	503	454
その他の包括利益累計額合計	146	△166
非支配株主持分	284	292
純資産合計	58,351	46,806
負債純資産合計	287,889	258,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	534,585	331,092
売上原価	550,763	339,515
売上総損失(△)	△16,178	△8,423
販売費及び一般管理費	2,605	2,644
営業損失(△)	△18,784	△11,067
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	203	52
為替差益	3,363	-
持分法による投資利益	1,423	2,339
タンク賃貸料	120	100
その他	249	254
営業外収益合計	5,377	2,769
営業外費用		
支払利息	2,175	1,521
為替差損	-	46
タンク賃借料	196	196
その他	649	627
営業外費用合計	3,021	2,392
経常損失(△)	△16,428	△10,690
特別利益		
国庫補助金	-	1
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	1
特別損失		
固定資産売却損	36	-
固定資産除却損	23	7
ゴルフ会員権評価損	3	4
特別損失合計	63	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△16,491	△10,700
法人税、住民税及び事業税	4	103
法人税等調整額	309	186
法人税等合計	314	290
四半期純損失(△)	△16,806	△10,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	15
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,850	△11,006

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△16,806	△10,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127	△177
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	88	△14
退職給付に係る調整額	△18	△48
持分法適用会社に対する持分相当額	392	△71
その他の包括利益合計	589	△312
四半期包括利益	△16,216	△11,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,261	△11,319
非支配株主に係る四半期包括利益	44	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製／販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。